



営業トラックの交通事故発生状況 令和5年中

1 発生状況

令和5年中の営業トラック（事業用貨物自動車）が第1当事者となった人身交通事故は、前年と比較して、発生件数、負傷者数ともに減少していますが、死亡事故は、3件5人（うち東北道で1件3人の死亡事故）発生し、前年と比較して増加しました。

事故類型別では、追突が約5割（129件中63件、48.8%）を占めて最も高く、違反別では、安全不確認が約3割（45件、34.9%）を占めて最も高くなりました。

【営業トラックの交通事故発生状況】

（令和5年中）

区 分	発生件数	死 亡 事 故		負 傷 者 数		
		件 数	死者数	重 傷	軽 傷	計
本 年	129	3	5	15	157	172
前 年	156	1	1	20	173	193
増 減	-27	2	4	-5	-16	-21
率	-17.3	200.0	400.0	-25.0	-9.2	-10.9

2 発生推移（基礎データ平成26年～令和5年）

過去10年間の発生推移を見ると、発生件数は、緩やかな減少傾向が続いています。

死者数については、平成26年は12人（前年比+9人）と大幅に増加しましたが、平成27年以降は一桁台で増減を繰り返し、令和5年は5人（前年比+4人）と前年に比べ大幅に増加しました。

また、営業トラック100台当たりの事故件数は、減少傾向が続いており、10年間で半数以下（1.2件→0.5件）に減少しました。



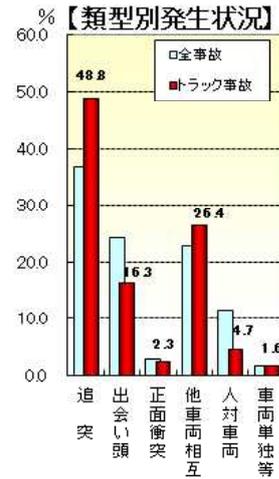
区 分	26年	27年	28年	29年	30年	元年	2年	3年	4年	5年
死者数	12	4	6	4	4	3	5	5	1	5
発生件数	276	260	223	213	201	181	171	178	156	129
営業トラック台数	22,681	22,828	23,185	23,508	23,791	24,059	24,353	24,410	24,146	24,018
100台当たりの件数	1.2	1.1	1.0	0.9	0.8	0.8	0.7	0.7	0.6	0.5

※営業トラック台数：東北運輸局HPより、令和5年11月末時点

3 営業トラック事故の発生傾向等 (令和5年中)

(1) 追突事故が多い

事故類型別では、追突事故の発生が多く、約5割(129件中63件。48.8%)を占めており、全事故の構成率(4,033件中1,484件。36.8%)より12.0ポイント高くなりました。



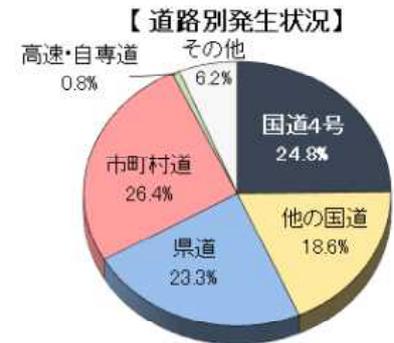
(2) 安全不確認、前方不注意による事故が多い

違反別では、安全不確認による事故が最も多く(129件中45件。34.9%)、次いで前方不注意による事故(42件。32.6%)が多くなりました。

(3) 国道での発生が多い

道路別では、国道での発生が最も多く(129件中56件43.4%)、次いで市町村道(34件。26.4%)が多くなりました。

また、全体の約2割(32件。24.8%)が国道4号で発生しました。



(4) 大型車の事故が多い

車種別では、大型車が約4割(129件中47件。36.4%)を占めて最も多く、次いで軽自動車(41件。31.8%)が多くなりました。

前年と比較すると、大型車は-15件、中型車は-4件、軽自動車は-11件と減少し、準中型車は+2件、普通車は+1件と増加しました。



(5) 昼間の発生が多い

昼夜別では、約7割(129件中95件。73.6%)が昼間に発生しており、時間別では、午前11時台の発生が最も多くなりました。



曜日別では、木曜日(25件)が最も多くなっており、最も少ないのは日曜日(8件)となりました。

